



日本航空株式会社



**JAL
NEXT
ATHLETE
PROJECT**

「JALネクストアスリートプロジェクト」として、子供達の「スポーツ能力測定会」、東京2020パラリンピックを目指す「パラリンピックアスリート発掘プロジェクト」を実施

当社が2020年までの活動の主軸の1つとして掲げている、「スポーツへの支援を通じた次世代育成」というテーマに沿って、子供たちが自分たちの可能性に気づき、挑戦する夢を抱いて欲しい、との思いから、2020年までの間に全国47都道府県で「スポーツ能力測定会」開催予定。6種目の測定を行い、69種目のスポーツ種別の中から、それぞれの子どもの特性にあったスポーツを10種抽出し、アドバイス。加えて、向いていると判定されたスポーツの紹介や、近くで習える場所などの情報も提供している。

2020年までに全47都道府県で実施し、12,000名を超える子供たちが参加予定。(2019年2月現在、24回実施。7,264名参加。)

また、「パラリンピックアスリート発掘プロジェクト」では各競技団体と連携しながら、東京2020パラリンピック競技大会に出場できるアスリート発掘を実施。

本人または周囲の方からメールを頂き、障がいの種類や希望される運動種目等のやり取りを始め、可能性のある方は、スポーツ能力測定会で使用している機材を持って自宅等に訪問して測定する。



顧客から寄付されたマイル数と同数を上乗せし競技団体へ寄付（1マイル1円）

スポーツのさらなる振興、及び将来のスポーツ界を担う若手アスリートのチャレンジをサポートすることを目的として、JALマイレージバンク(JMB)会員の皆さまから寄付いただいたマイルと、集まったマイル相当額と同額をJALからも拠出し、総額で対象競技団体を支援している。

将来有望であるにもかかわらず、金銭的な事情で海外遠征やスポーツ活動そのものを断念することもあり、若手アスリートの練習環境は十分とは言えない。そのような若手アスリートがチャレンジできる環境づくり並びに、世界中に勇気を与え、夢や希望を届けることができるスポーツのさらなる振興に貢献できれば、との思いから実施している。

URL:<https://www.flyforit.jp/forsports/>



企業 DATA

所在地
品川区

業種
運輸業

総従業員数
約12,400名

あすチャレ! School

JALが協賛している公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター(以下「パラサポ」という。)のパラ体験授業を提供するプロジェクト。

「あすチャレ!School」は、パラサポが平成28年4月に開始した小中高等学校向けの体験型授業で、パラアスリートと一緒にスポーツ体験をしたり、パラアスリートの生の声を参加者が聞くことで、夢や目標を持つことの価値や、社会にある障がいをなくし多様性を認め合うことの大切さなどを学ぶ場となっている。

パラサポの実施するこの活動に対し、さらに多くの子供たちに「あすチャレ!School」の授業を届けたいとJALから提案し、パラサポが賛同したことから、平成29年4月からの提携が実現した。

講師やスタッフの航空機での移動や器具輸送を手配するなど、各種輸送に関して全面的にサポートしている。



各種スポーツへの支援

挑戦するアスリートやそれをサポートする人たちのさまざまな想いを受けて、皆さまの移動、競技用具の輸送をはじめ、大会への支援・協賛などさまざまな形でスポーツを支援している。

最近の主な支援実績

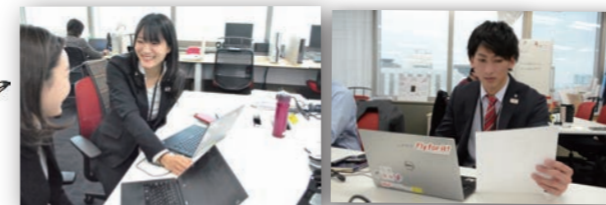
- スポーツライミング
東京2020大会の新種目として普及発展。国内連盟(NF)のみならず国際連盟(IF)と日本企業として初のスポンサー契約を締結。
- 体操日本代表
トップスポンサー契約を締結。

アスリート社員の採用(平成30年度 陸上競技選手2名)

オリンピックへの参加等、高いレベルで活躍の見込まれるアスリートが社員として入社した。選手の競技現役期間のみならず、引退後も正社員として迎えることを前提としており、将来の不安を払拭した形で、競技に集中できる環境を整えている。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた各種の取組を行う中で、さらにその気運を盛り上げたいとの思いや、スポーツ振興を通じて社会貢献を行いたいとの思いからアスリート社員を採用した。セイコーゴールデングランプリ陸上など両名の応援を積極的に実施。三段跳びの山本凌雅は第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会、第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」で優勝した。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

昨年度は実践部門のモデル企業に選定いただき、スポーツの実践を通じて健康経営を推進し、お客さまに最高のサービスを提供するという当社の理念を多くの方々にご理解いただくことができました。

特に社員にとっても客観的に会社の想いを知ることで、エンゲージメントを高めることに繋がりました。

今年度は支援部門でも選定いただき、社会の進歩・発展に貢献していることを改めて社員が認識できる良い機会と感謝しております。

来る2020年に向けて、当社は「Fly for it!」のスローガンのもとに、これからも様々な活動を展開してまいります。